

## 似非恋歌

鳥沼憂

似非恋歌【えせれんか】

：：実際は全く恋を詠んだ歌ではないが、なんとなく「そういうふう」に聞こえるよう詠んだ歌のこと。相手に好かれたいとか、落としたいとか、そうした邪念の一切を排除した愛おしさを詠んでいる点では、ある意味最も純粋なラヴ・ソングなのではないだろうか。（考案者談）

句読点をメールに打つ位置であの人の話す様子が浮かぶ

「この結果君の助力のおかげだよ」言うはずはないが言ってほしい

失礼のないようにかつ可愛げも ビックリマークが異常に増える

長文も返す言葉に困るけど素っ気なくても心配になる

明らかにわたしを向いた眩きに♡（いいね）を付けない  
宣戦布告

お疲れとありがとうだけあればいい 単純人間の生きるガソリン

若い娘に等しく優しいのを見ると特別じゃないと分かっ  
てしまっ

あの人  
が面白いのはあの人を知ってる私達だけの秘密  
戴いた借りを返したプレゼント お返し  
のせいで縮まらない差

繕った縫い目を解くリッパーのよう  
なあなたに為すべが  
なく

すぐ側で流行り病に罹る君 感  
染らないのがほんのり不  
服

どちらかと言えばツツコミポ  
ジションで ボケがない  
いと何もできない

一番の不安の種は私だけ取り残  
されて咲いてしまうこと

一人でも大丈夫という訳じゃ  
なく君が居ずとも生きてく  
練習